

# 令和 7（2025）年度

## 「運営に関する計画・自己評価」

大阪市立磯路小学校  
令和 7（2025）年 4 月

## 大阪市立磯路小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(総括シート)

## I 学校運営の中期目標

**現状と課題**

令和6年度大阪市小学校学力経年調査の結果より、学校(3～6年)として4教科(国・社・算・理)の標準化得点は、大阪市の平均と比較し、3・4年生が上回り、5・6年生がやや下回った。(3年生 R6:105.3、4年生 R5:113→R6:103、5年生 R5:95.8→R6:94.5、6年生 R5:89.3→R6:87.3)

6年生の全国学力学習状況調査では、全国平均を1とすると、本校は、国語科 0.92、算数科 0.91 という結果となった。

研究においては、国際理解教育を研究領域として位置づけ、「互いの人権を尊重し、多様性を認め合い、共に生きる子どもを育てる」ことを研究主題とし、研究をすすめてきた。「ことばとコミュニケーション」「多文化共生」「環境問題」「平和学習」などの学習を通して、研究主題に迫ることができたと考える。

また、これまでの学校教職員の取り組みと家庭との連携、地域の協力の積み重ねがあり、安全・安心な環境で児童は学校生活をおくることができている。

令和6年度末の「いじめアンケート」における調査では、いじめの件数は2件となっている。いじめを把握する度に、学級担任が丁寧に聞き取りを行い、その都度指導を行い、いじめの解消に努めている。また、児童の規範意識は高く、学校アンケートでの「時間を守って動いている」の項目において肯定的に回答する児童の割合は、90.3%(前年度 89.7%)であった。

児童が安心して学校生活をおくするためには、学級の雰囲気が非常に重要である。自分の存在が認められ、友達の存在を大切にできる価値観のある場で過ごすことにより、自己肯定感を持つことになる。「だれもが安心して自分の考えや思いを主体的に話せる学級の雰囲気づくりをめざす」ことを重点的な取り組み内容とした。学校生活アンケートで「自分にはよいところがある」の項目で、肯定的な回答をする児童の割合は85.9%(前年度 86.8%)と高い評価となっている。しかし、逆に約14%の児童は、「自分にはよいところがない」という思いをもっている。全ての児童が自己肯定感をもてるようにし、人間関係を良好にするための取り組みを充実させていく。

学びを支える教育環境の充実については、本校は令和4年度に、SKYMENU CLOUD 研究推進校となり、SKY 株式会社インストラクターの支援を受け研究をすすめた。今年度も取り組みを継続してすすめ、低学年においては、児童の協働学習ツール skymenu cloud を活用した授業が充実した。高学年については、Google workspace の活用もすすみ、タブレット端末の家庭での持ち帰りも定着化しつつある。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

○令和7（2025）年度の学校アンケートにおける「学校は楽しい」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。（基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現）

○令和7（2025）年度の学力経年調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を96%以上にする。

（基本的な方向2 豊かな心の育成）

○令和7（2025）年度の学力経年調査における「自分には、良いところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を77%以上にする。

（基本的な方向2 豊かな心の育成）

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○令和7（2025）年度の全国学力学習状況調査における平均正答率の対全国比を1.00以上にする。（基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上）

○令和7（2025）年度の全国体力・運動能力等調査における体力合計点の全国比を男女とも1.00以上にする。（基本的な方向5 健やかな体の育成）

【学びを支える教育環境の充実】

○授業日において、児童の80%以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の半数を超える。（ただし、学校行事等ICT活用が適さない日を除く）

（基本的な方向6 学びを支える教育環境の充実）

○「学校園における働き方改革プラン」に掲げる教職員の勤務時間に関する基準Ⅰを満たす教員の割合を50%以上にする。

※基準Ⅰ

次のア及びイの基準を満たすこと

ア 1か月の時間外勤務時間が45時間を超えないようにすること

イ 1年間の時間外勤務時間が360時間を超えないようにすること

（1か月の時間外勤務時間が30時間を超えないようにすること

360時間÷12か月＝30時間）

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

### 【安全・安心な教育の推進】

#### 全市共通目標（小・中学校）

- ・ 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 80%以上にする。  
R5:85.6% R6:86.3%
- ・ 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。  
R4:0.9%→R5:1.4%→R6:1.2%
- ・ 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。  
※改善とは、次の状態の場合をいう R5:1名改善→R6:1名改善
  1. 出席日数の増
  2. ICT の活用による、本人、保護者と学校がつながる回数が増えた
  3. 養護教諭、スクールカウンセラー、教育支援センターなど学校内外の専門的な指導・相談につながるようになった。または、継続してつながるようになった。

#### 学校園の年度目標

- ・ 「学校生活アンケート」（児童向け）で「学校は楽しい」の項目について、「よくあてはまる」「あてはまる」と答える児童の割合を 90%以上にする。R5:89.0% R6:91.3%
- ・ 「学校評価アンケート」（保護者向け）で「学校は誰もが安心して自分の考えや思いを話せる学級の雰囲気づくりに努めている」の項目について、「よくあてはまる」「あてはまる」と答える保護者の割合を 80%以上にする。R5:96.9% R6:92.0%
- ・ 「学校生活アンケート」（児童向け）で「戦争や平和についての学習を通して平和の大切さがわかった」の項目について、「よくあてはまる」「あてはまる」と答える児童の割合を 90%以上にする。R5:97.6% R6:98.6%

## 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

### 全市共通目標

- ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を39%以上にする。  
R5:46.6%→R43.1%

- ・小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対大阪市比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。

R5 国語 4～6年のうち、1学年が1ポイント以上向上  
算数 4～6年のうち、1学年が1ポイント以上向上

R6 国語 4～6年のうち、該当学年なし  
算数 4～6年のうち、2学年が1ポイント以上向上

- ・小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を86%以上にする。  
R5:83.3%→R6:70.6%

- ・小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を78%以上にする。  
R5:72.6%→R6:67.8%

- ・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を65%以上にする。  
R5:69.6%→R6:63.1%

### 学校年度目標

- ・「学力経年調査」の国語科において、校内平均点と大阪市平均との差を昨年度より縮めるようにする。  
R5 4～6年のうち、2学年で達成

- ・「学校評価アンケート」（保護者向け）で「学校は、「うがい・手洗い」「早寝・早起き・朝ごはん」など基本的な生活習慣の指導を行っている。」と「学校は、日々の給食や栄養指導などを通して、食に関する指導を行っている。」の項目について、肯定的な回答の割合が90%以上であることを継続する。  
R5:95.7% 97.5%  
R6:93.3% 96.6%

- ・「学校評価アンケート」（児童向け）で「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることが好きだ」の項目において、肯定的な回答の割合が、80%を上回るようにする。  
R5:84.9%→R6:85.1%

## 【学びを支える教育環境の充実】

### 全市共通目標

・授業日において、児童の 80%以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の半数を超えるようにする。（ただし、学校行事等 ICT 活用が適さない日を除く）

R5 週 2・3 日程度

R6:73.4%

・「学校園における働き方改革プラン」に掲げる教職員の勤務時間に関する基準Ⅰを満たす教員の割合を 50%以上にする。

R5:62.5% R6:62.5%

※基準Ⅰ

次のア及びイの基準を満たすこと

ア 1 か月の時間外勤務時間が 45 時間を超えないようにすること

イ 1 年間の時間外勤務時間が 360 時間を超えないようにすること

（1 か月の時間外勤務時間が 30 時間を超えないようにすること

360 時間 ÷ 12 か月 = 30 時間）

### 学校年度目標

・「学校評価アンケート」（保護者向け）で「学校は、ICT 機器（パソコンやタブレット等）を活用した授業を行っている。」の項目について、肯定的な回答の割合を、昨年度に引き続き 90%以上維持できるようにする。

R5:98.2% R6:98.6%

・「学校評価アンケート」（児童向け）で「タブレットを使った学習が好きだ」（1～3 年）「タブレットを使って学習することのよさに気づいている」（4～6 年）の項目について肯定的な回答の割合が 90%以上にする。

R5 1～3 年 96.4% 4～6 年 93.9%

R6 95.5% 95%

・1 年間の時間外勤務時間が 360 時間を超えない教職員の割合を 50%以上にするようにすること

（1 か月の時間外勤務時間が 30 時間を超えないようにすること

360 時間 ÷ 12 か月 = 30 時間）

R5:62.5% R6:58.3%

### 3 本年度の自己評価結果の総括

大阪市立磯路小学校 令和 7(2025)年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した  
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【安全・安心な教育の推進】</b></p> <p><b>全市共通目標（小・中学校）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 80%以上にする。 R5:85.6% R6:86.3%</li> <li>・ 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。 R4:0.9%→R5:1.4%→R6:</li> <li>・ 年度末の行内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。 ※改善とは、次の状態の場合をいう R5:1名改善→R6:1名改善             <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 出席日数の増</li> <li>2. ICT の活用による、本人、保護者と学校がつながる回数が増えた</li> <li>3. 養護教諭、スクールカウンセラー、教育支援センターなど学校内外の専門的な指導・相談につながるようになった。または、継続してつながるようになった。</li> </ol> </li> </ul> <p><b>学校園の年度目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「学校生活アンケート」（児童向け）で「学校は楽しい」の項目について、「よくあてはまる」「あてはまる」と答える児童の割合を 90%以上にする。 R5:89.0% R6:91.3%</li> <li>・ 「学校評価アンケート」（保護者向け）で「学校は誰もが安心して自分の考えや思いを話せる学級の雰囲気づくりに努めている」の項目について、「よくあてはまる」「あてはまる」と答える保護者の割合を 80%以上にする。 R5:96.9% R6:92.0%</li> <li>・ 「学校生活アンケート」（児童向け）で「戦争や平和についての学習を通して平和の大切さがわかった」の項目について、「よくあてはまる」「あてはまる」と答える児童の割合を 90%以上にする。 R5:97.6% R6:98.6%</li> </ul>	



年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向１ 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>みんなが気持ちよく安全に学校生活を送るために、学校のルールを守るという意識を育てる。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学校生活アンケート」（児童向け）の「時間を守って動いている」の項目で「よくあてはまる」「あてはまる」と回答する児童（全学年）の割合が８０％を超えるようにする。</li> <li>低学年（チャイムの鳴り始めて動く）</li> <li>中学年（チャイムが鳴り終わるまでに座る）</li> <li>高学年（チャイムで授業が始まる）</li> </ul> <p style="text-align: right;">R5 89.7% R6 90.3%</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向１ 安全・安心な教育環境の実現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の特性や家庭の背景を理解する力を高める。</li> <li>・Q-U「楽しい学校生活を送るためのアンケート」を実施し、学級集団の分析や児童理解を深める。</li> </ul> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童理解の機会を毎月１回以上設ける。</li> <li>・２回目のQ-Uにおいて学級生活不満足群の割合を１回目より減らす。</li> </ul>	
<p>取組内容③【基本的な方向１ 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>「防災計画」に基づき、災害に対しての意識を高め、命を守るために適切な行動がとれるようにする。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・火災・地震（津波）・防犯・引き渡しの訓練（台風）を年５回実施する。</li> <li>・地域と協力して防災教室を実施する。</li> </ul>	
<p>取組内容④【基本的な方向２ 豊かな心の育成】</p> <p>だれかとの比較ではなく自分ならではの良さを知り、自己肯定感を高める。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学校生活アンケート」（児童向け）の「自分にはよいところがある。」の項目で、「よくあてはまる」「あてはまる」と回答する児童（全学年）の割合が、７７％を超えるようにする。</li> </ul> <p style="text-align: right;">R5:86.8% R6:85.9%</p>	
<p>取組内容⑤【基本的な方向２ 豊かな心の育成】</p> <p>人権を尊重する教育を推進する。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権教育年間指導計画を作成し、系統立てた取り組みを行う。</li> <li>・前年度の実践をふまえて、各学年で平和学習の取り組みを年１回以上行う。</li> </ul>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	

今後の改善点

大阪市立磯路小学校 令和 7(2025)年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した  
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</b></p> <p><b>全市共通目標（小・中学校）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 39%以上にする。 R5:46.6%→R43.1%</li> <li>・小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対大阪市比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。 R5 国語 4～6年のうち、1学年が1ポイント以上向上 算数 4～6年のうち、1学年が1ポイント以上向上 R6 国語 4～6年のうち、該当学年なし 算数 4～6年のうち、2学年が1ポイント以上向上</li> <li>・小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を86%以上にする。 R5:83.3%→R6:70.6%</li> <li>・小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 78%以上にする。 R5:72.6%→R6:67.8%</li> <li>・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を 65%以上にする。 R5:69.6%→R6:63.1%</li> </ul> <p><b>学校年度目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学力経年調査」の国語科において、校内平均点と大阪市平均との差を昨年度より縮めるようにする。 R5 4～6年のうち、2学年で達成</li> <li>・「学校評価アンケート」（保護者向け）で「学校は、「うがい・手洗い」「早寝・早起き・朝ごはん」など基本的な生活習慣の指導を行っている。」と「学校は、日々の給食や栄養指導などを通して、食に関する指導を行っている。」の項目について、肯定的な回答の割合が90%以上であることを継続する。 R5:95.7% 97.5% R6:93.3% 96.6%</li> <li>・「学校評価アンケート」（児童向け）で「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることが好きだ」の項目において、肯定的な回答の割合が、80%を上回るようにする。 R5:84.9%→R6:85.1%</li> </ul>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会科（生活科）において対話する活動の充実を図り、コミュニケーション力を高める。</li> </ul> <p>指標 ・「学校評価アンケート（児童向け）」項目「社会科（生活科）の学習が好きだ」の肯定的回答を58%以上にする。</p>	
<p>取組内容②（基本的な方向4 だれ一人取り残さない学力の向上）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合う活動の充実。表現（書いたもの、意見、作品など）の交流、相互評価を積極的に行う。</li> </ul> <p>指標 ・学校評価アンケート（児童向け）項目「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」に対して、最も肯定的な回答を39%以上にする。 R5:46.6%→R6:43.1%</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究授業や公開授業を通して、交流の在り方を研修する。</li> </ul>	
<p>取組内容③【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・英語教育の充実を図る。・C-NETを積極的に活用する。</li> </ul> <p>指標 ・英語モジュールを週に2回実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学校評価アンケート（児童向け）」項目「外国語（英語）の学習が好きだ」に対して、肯定的な回答を75%以上にする。 R5:76.9%→R6:70.2%</li> </ul>	
<p>取組内容④【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日の給食指導や栄養指導などを通して、食に関する指導を実施する。</li> <li>・健康に対する意識を高めるために、保健指導などを実施する。</li> </ul> <p>指標 ・各学年で2回以上の栄養指導ないし保健指導を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食育だよりを年10回発行し、食に対する保護者の関心を高める。</li> <li>・保健だよりを年10回発行し、健康に対する保護者の関心を高める。</li> </ul>	
<p>取組内容⑤【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・できる喜びや達成感を感じられる学習</li> <li>・活動を通して運動への意欲を高める。意欲的、協働的な姿（互いに励まし合う姿、作戦を話し合う姿、休み時間に進んで練習する姿など）を個々に評価する。</li> </ul> <p>指標 ・「学校アンケート」（児童向け）で「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることが好きだ」の項目について肯定的な回答を80%以上にする。 R5:84.9%→R6:85.1%</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	

今後の改善点

大阪市立磯路小学校 令和 7(2025)年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した  
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【学びを支える教育環境の充実】</b></p> <p><b>全市共通目標（小・中学校）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業日において、児童の 80%以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 73.5%を超えるようにする。（ただし、学校行事等 ICT 活用が適さない日を除く）</li> </ul> <p style="text-align: right;"><b>R5 週 2・3 日程度</b> <b>R6:73.4%</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学校園における働き方改革プラン」に掲げる教職員の勤務時間に関する基準Ⅰを満たす教員の割合を 62.6%以上にする。</li> </ul> <p style="text-align: right;"><b>R5:62.5% R6:62.5%</b></p> <p>※基準Ⅰ</p> <p>次のア及びイの基準を満たすこと</p> <p>ア 1 か月の時間外勤務時間が 4 5 時間を超えないようにすること</p> <p>イ 1 年間の時間外勤務時間が 3 6 0 時間を超えないようにすること （1 か月の時間外勤務時間が 3 0 時間を超えないようにすること <math>3 6 0 \text{ 時間} \div 1 2 \text{ か月} = 3 0 \text{ 時間}</math>）</p> <p><b>学校年度目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学校評価アンケート」（保護者向け）で「学校は、ICT 機器（パソコンやタブレット等）を活用した授業を行っている。」の項目について、肯定的な回答の割合を、昨年度に引き続き 90%以上維持できるようにする。</li> </ul> <p style="text-align: right;"><b>R5:98.2% R6:98.6%</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学校評価アンケート」（児童向け）で「タブレットを使った学習が好きだ」（1～3 年）「タブレットを使って学習することのよさに気づいている」（4～6 年）の項目について肯定的な回答の割合が <b>90%以上</b>にする。</li> </ul> <p style="text-align: right;"><b>R5 1～3 年 96.4% 4～6 年 93.9%</b> <b>R6 95.5% 95%</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1 年間の時間外勤務時間が 3 6 0 時間を超えない教職員の割合を 50%以上にするようにすること</li> </ul> <p style="text-align: right;">（1 か月の時間外勤務時間が 3 0 時間を超えないようにすること <math>3 6 0 \text{ 時間} \div 1 2 \text{ か月} = 3 0 \text{ 時間}</math>） <b>R5:62.5% R6:58.3%</b></p>	
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p><b>取組内容①【基本的な方向 6 教育 DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進】</b></p> <p>ICT を活用した児童の「個別最適な学び」と「協働的な学び」を推進する。</p>	

<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ デジタルドリル navima を活用する（家庭学習や空き時間の利用）。</li> <li>・ Google workspace や skymenu cloud 等の協働学習ツールを活用した授業を、週に 3 回以上設ける。</li> <li>・ 児童の ICT 活用能力（基本操作能力、インターネットを活用した情報収集、Google workspace や skymenu cloud の基本操作能力等）を向上させる。</li> <li>・ 校内 ICT 研修会で教職員の ICT 活用指導力を向上させる。</li> <li>・ 学校と家庭を双方向に繋いだ学び（オンライン学習、対面とオンラインのハイブリッドな授業）を充実させる。</li> </ul>	
<p>取組内容②【基本的な方向 6 教育 DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進】</p> <p>教育ビッグデータの蓄積・活用を推進する。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「心の天気」（児童の心の状態の可視化）の入力を毎日実施し、日々の入力率を 80% 以上にする。</li> <li>・ 児童のデジタルドリルの活用結果（スタディログ）から、児童の学習理解度を把握し、授業内容の計画に活かす。</li> </ul>	
<p>取組内容③【基本的な方向 7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>働き方改革を推進し、作業の効率化を図る。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教職員配付文書等のペーパーレス化を推進する。（SKIP 連絡掲示板等の活用）</li> <li>・ 職員会議や部会にかかる時間の短縮化を図る。（要点や変更点のみ伝える等）</li> </ul>	
<p>取組内容④【基本的な方向 9 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】</p> <p>地域による学校支援の取組や、学校・地域・家庭の連携による様々な取組を推進する。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域・保護者に対して学校の取り組みを発信する。週に 3 回以上ホームページの学校日記を更新する。</li> <li>・ 地域や保護者と協力・連携し、防災学習や読み聞かせ会、昔遊び体験、しめ縄体験等の学校行事を実施する。また、児童の安全な登下校の実施のため、見守り隊等、地域の協力を依頼し、連携を図っていく。</li> </ul>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
今後の改善点	